



よりよい自分をめざし、笑顔いっぱいの子

～「やる気・根気・勇気(心の苗木)」を自分で育てる柏っ子～

校長 南舘義孝

8月に続き、とても暑かった9月も、朝の空気の冷たさと虫の鳴き声とともに秋の訪れを感じられるようになりました。令和5年度も、ちょうど半分の「6か月」を過ぎて、折り返しとなります。その6か月の成果を表現する音楽会の練習が本格的に始まりました。柏っ子は、「やる気・根気・勇気」を自分の中に育てながら、今年目標である「よりよい自分」をめざし、協力して心をついに音楽をつくり上げることに取り組んでいます。保護者・地域の皆様、音楽会にご来場いただき、柏っ子に温かい拍手をお願いいたします。

◆ 笑顔いっぱいに盛り上がった「区民運動会」

9月3日(日)、4年ぶりに柏崎地区連合町内会・柏崎体育振興会主催の「第75回柏崎地区区民運動会」が開催されました。この運動会には、日頃、柏っ子の安全・安心のために協力いただいている地域の皆様への感謝の気持ちを込めて、学校行事として柏っ子が一緒に参加させていただきました。

開会式には、八戸市長 熊谷雄一様より祝辞があり、また各町内会の旗が集まった堂々とした選手宣誓もあり、開会式から4年ぶりの区民運動会が盛り上がりました。競技は、町内会ごと、柏っ子も含め老若男女が入り混じって協力・応援する素敵な運動会となりました。今年の運動会のスローガン「コロナ明け 笑顔で再会 柏崎」のとおり、笑顔いっぱいの日となりました。ここで柏っ子の感想を紹介します。



「運動会が始まる前は、おじいさんやおばあさんたちが頑張るだけで、少しつまらないなあと思っていました。しかし、みんなの頑張る姿を見ていたら楽しくなってきました。」
 「区民運動会では、様々な地区の人が参加して盛り上がりを見せていました。5月の運動会と共通点はあるものの、比べられないほど違う運動会でした。」

◆ 代々、受け継いできた「ぶどうの木とぶどうの詩」

約50年近く前に、本校11代校長の久保沢正雄先生が植えた「ぶどうの木」に今年も甘い香りを漂わせるぶどうの実がなりました。1年生は、「めっちゃ、ぶどうがなっている。」
 「ぶどうは、何年生が食べることができるの？」と笑顔で楽しみにしていました。9月14日(木)には「ぶどうのセレモニー」を開催し、全校児童で与田準一さんの「ぶどうのように」の詩を朗読しました。本校の先輩たちから代々受け継いできた、ぶどうとともに、与田さんの詩にもあるように、「みんながひとつになって」「よろこびをひとからひとへ」という心を継承していきます。

